

使用方法

BAP注入法

(バイオエスティックポイント)

この注入法は老化現象により真皮の萎縮が生じやすい顔下 1/3 の部分への適用を考慮して開発されました。

5カ所の BAP 注入ポイントの決定 (顔の片面)

皮下組織に 1 回あたり 0.2 mL をポーラス注入

この5カ所のポイントは大きな血管や神経枝がない解剖学的に適切な部分です。そのため、頬骨や頬骨下部に最小限のリスクで最大限に注入材を浸透させることができます。

- ① 頬骨突起
目尻から 2 cm 以上離します
- ② 鼻底
 - ・ 鼻孔と耳珠とを線で結びます
 - ・ 瞳孔から縦線を引きます
 - ・ この2本の線の交点を注入ポイントとします
- ③ 耳珠
耳珠の一番下から 1 cm 前方の位置です
- ④ 下顎
 - ・ 下顎の中央に縦線を引きます
 - ・ その縦線の上から 1/3 のところに横線を引きます
 - ・ その交点をマリオネットラインの方向へ 1.5 cm ずらします
- ⑤ 下顎角
下顎角から 1 cm 上の位置です

